

求道第七卷第二號附録 明治四十年十一月三日第三種郵便物認可
明治四十三年三月十五日發行(毎月一回十五日發行)

求道六卷自第一號總目錄



○無母の道	四一	(一)
○招喚の聲	八一	(二)
○如來の御心	一一一	(三)
○誓の力	一六一	(四)
○誓願の綱	二〇一	(五)
○是非ならず、邪正もわかぬこの身なり	二四一	(六)
○前念命終、後念即生	二七七	(七)
○慈悲の父母	三一七	(八)
○罪と恵	三五七	(九)
○眞人生	三九七	(一〇)

自 督

○底下の凡愚	四	(一)
○慈光の照耀	七	(二)
○不思議の佛智	四四	(三)
○火宅無常	四七	(四)
○義なきを義とす	八五	(五)
○煩惱悪業と御方便	一二四	(六)
○信樂開發と罪惡の自覺	一六四	(七)
○矜哀の善巧	一六七	(八)

○親鸞聖人の信仰	二〇五	(六)
○清澤先生及其信念	二四四	(七)
○郷里震災地より	二七九	(八)
○御慈悲にたちかへる	三二〇	(九)
○知恩報徳	三五九	(一〇)
○聖人追慕	三六一	(一一)
○歳晩の感謝	四〇〇	(一二)

明治同 43. 6. 29 製本

講 話

○三寶紹隆	近角常觀	一〇	(一)
○逆縁即恩寵	同	四九	(二)
○念々の満足	同	八八	(三)
○本願の眞意	同	一二七	(四)
○念佛成佛是眞宗	同	一七〇	(五)
○不可思議の信	同	二一一	(六)
○四海兄弟	同	二四七	(七)
○唯一の信	同	二八四	(八)
○長生不死の神方	同	三二三	(九)
○如來は無上法皇なり	同	三六三	(一〇)
○信疑の得失	同	四〇三	(一一)

告 白

○佛の強縁	長尾加壽子	二二	(一)
○理想を求めて信仰を得たり	清水子三郎	六〇	(二)

(二)

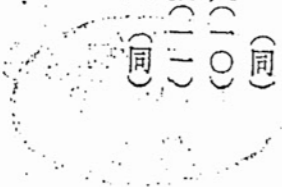
○逆縁の御手引	辻 寛 子	九九	(三)
○家庭問題より信仰に入る	都築百太郎	一四三	(四)
○一人のためなりけり	園 千鶴子	一四七	(五)
○一々皆善巧	能戸 得一	一八四	(六)
○慚愧賀慶	小野島覺哲	一八八	(七)
○分つたと云ふは分らぬなり	佐々木 博	二二三	(八)
○善巧方便奇なる哉	山崎 震雷	二六四	(九)
○不可思議の味ひ	無漏田謙恭	三〇〇	(一〇)
○故菅瀬夫人の日記	同	三四四	(一一)
○同	同	三八一	(一二)
○是非善惡の分らぬ汝を惑む本願也	岩永 法電	四二七	(一三)

聖 傳

○ジャータカ釋尊傳(前卷に續く)	二四	(一)
第九 パンヤン	二四	(二)
第十 愛の毒矢	六六	(三)
第十一 食を食りし鹿の話	六七	(四)
第十二 學ばざりし鹿の話	六九	(五)
第十三 賢き鹿の話	同	(六)
第十四 風	七〇	(七)
第十五 犠牲	七一	(八)
第十六 誓の捧物	七一	(九)
第十七 猿と惡魔の話	同	(一〇)
第十八 計策ある鹿の話	一〇三	(一一)

講 義

○歎異鈔(前號に續く)	近角常觀	七三	(一)
第十一章	同	一五〇	(二)
第十二章	同	二六八	(三)
第十二章 大切の證文につきて	同	二六八	(四)



第十二章……………四三二(一一)

慶 讚

○十七憲法……………近角常觀……………二八(一)

序論……………二八(一)

第一條……………一一(三)

第二條……………一九二(五)

第二條……………三〇二(八)

雜 錄

○現代思潮と信仰……………近角常觀……………七九(二)

○信仰の道程……………同……………一〇六(三)

○夏と精神修養……………同……………二三六(六)

○家庭と宗教……………同……………三一六(八)

○近時思想界と信仰問題……………同……………四二五(一一)

○徹底せざる人生觀……………同……………四二五(同)

歎 咏

○夜の歌(長詩)……………三井甲之……………三七(一)

○營雜中咏(短歌)……………増田八風……………一八(三)

○うれしき舟路(長詩)……………同……………一五八(四)

○九から(同)……………同……………(同)

○天に(同)……………三井甲之……………(同)

○適應(同)……………同……………(同)

○明日(同)……………増田八風……………二三四(六)

○海(長詩)……………同……………二四三(六)

哀 悼

○嗚呼珠光院唯信居士……………近角常觀……………二二九(六)

紹 介

○學修法○信仰五部書……………一九三(五)

○愚禿親鸞○花つみ日記……………四三五(一一)

時 報

○昨年の恩寵……………三八(一)

○昨年の地方傳道……………三九(同)

○羽村……………八〇(二)

○歸省傳道……………一一九(三)

○尾道傳道……………一五九(四)

○求道講話の近況……………一九九(五)

○清澤師七回忌……………同……………(同)

○夏期傳道日割……………二〇〇(同)

○清澤先生七周忌……………二三五(六)

○求道學舎第七回紀念日……………同……………(同)

○西川唯信居士追悼會……………二七四(七)

○夏期傳道概況……………同……………(同)

○爾後の傳道日割……………二七五(同)

○菅瀬氏令夫人を吊す……………三二三(八)

○感謝……………三三四(同)

(四)

○關西の旅……………三五六(九)

○太子詣……………同……………(同)

○山形行……………三九六(一〇)

○求道學舎報恩譚……………同……………(同)

○東京諸會合……………同……………(同)

○臘月思海……………四三六(一一)



爾時世自在王佛知其高明志
願深廣即爲法藏比丘而說經
言譬如大海一人升量經歷劫
數尙可窮底得其妙寶人有至
心精進求道不止會當尅果何
願不得
——大無量壽經